

■ いま、多くの学生・学者・労働者・子育てママが各地で反対しています！

危険すぎる



戦争法案 NO!

日本の若者の命、他国の人々の命を安倍政権から守ろう！

いつも権力者が 防衛の名で始める！

「戦争」

最も残酷な戦争の足音が聴こえてますか？

戦争ができる法律なんて私たちはいらさない



「安倍さん戦争したいなら、もちろんあなたが前線に？」

By 国民



◎安倍独裁政権は、戦争できる国に変えている

安倍政権は史上最悪の政権です。日本の民主体制は危機に陥っています。まるでドイツのワイマール憲法の崩壊とナチスの台頭のように…。

安倍政権の目的は一貫して「憲法を変えて日本を戦争できる国にすること」。安倍は初めに憲法9条を改悪しようとしていました。しかし、憲法9条を守ろうとする国民の運動の広がり、そのもくろみは失敗。今度は、まず憲法改定要件を定めた憲法96条の改定をして憲法を

変えやすくしてから9条を変えようとしてきました。しかし、それも国民の運動の広がり、そのもくろみは失敗。

最終手段として安倍が行なったのは憲法を変えずに解釈を勝手にかえて憲法を破壊する、集団的自衛権の閣議決定、今の戦争法案です。この閣議決定では、集団的自衛権の容認だけでなく、戦争法案の方向性も示されました。やはり、今回も阻止できるのは国民の運動の広がり以外にありません。みんなで必ずくいどめましょう！

◎安倍政権のすすめている「戦争立法」の問題点

●戦争や紛争に巻き込まれ、戦争の当事者となる。さらに被害者だけでなく加害者に！

●自衛隊員の戦死リスクが格段に増大。アメリカの戦闘に巻き込まれ死傷者がでる。

●海外派兵のための特別の装備購入など戦争準備のために国費が無駄使いされる。

●世界に誇れる9条を破壊し、平和憲法をもつ平和国家としてのイメージが失われる。

●テロの脅威が増大。「中立国」から「敵国」になり、日本人が狙われる危険性が増大。

●軍事優先の外交によって国際社会での政治・経済的孤立を深める。

国民は安倍の所有物じゃない

「戦争立法」反対のうねりで安倍政権を打ち倒せ！

国民の声に耳を傾けない安倍政権に対して、反対の声をあげるうねりが一気に拡大しています。

「自由と民主主義に基づく政治」を求めて10代～20代の学生が、「違憲だ」と怒りを持って学者や弁護士や映画監督が、「だれの子どももころさせない」と子育て中の母親たちが、「戦争は人権侵害の最たるものだ」と労働組合が、矛盾に耐えきれず日本各地で立ち上がっています。

今回の事だけでなく、派遣の常用化に道を開く労働者派遣法改悪・労働時間規制をなくす残業代ゼロ法案・農業を破壊する農協改革法案・安全と命を奪う原発稼働・民意を踏みつけ強行する沖縄辺野古基地建設など、自身の欲望を満たすために国民を犠牲にする安倍独裁政権をみんなで必ず打ち倒そう！

歴史はくり返される

- 1923年 関東大震災
- 1925年 治安維持法
- 1940年 東京オリンピック
- 1941年 太平洋戦争
- 2011年 東日本大震災
- 2013年 秘密保護法
- 2014年 集団的自衛権閣議決定
- 2020年 東京オリンピック



コメント・怖いね

